

## 農地再生モデル事業で収穫した

### 津久井在来大豆の納豆・きなこを大学生に提供

農業委員会では、農業委員、農地利用最適化推進委員が農地所有者の高齢化や農業の担い手不足により耕作できなくなった等の農地を除草や耕作することにより再生する「農地再生モデル事業」を実施しています。

今回、この事業により緑区鳥屋地区で栽培した津久井在来大豆を使って作った納豆ときなこ（約70個ずつ）を市で実施している「大学生等未来応援事業」で提供します。

#### 1 日時

令和5年3月18日（土）午前10時～午後5時

#### 2 会場

青少年学習センター（中央区矢部新町3-15）

#### 3 対象者

市内の大学在学者や本市在住の大学生・  
短大生・大学院生・専門学校生・専修学校生

#### 4 内容

農地再生モデル事業で収穫した津久井在来大豆の納豆・きなこを大学生に提供する。

#### 5 その他

- ・午前中に対象者が集中する傾向です（先着順となります）。
- ・今回、大学生等向け食材として支援するとともに、津久井在来大豆をはじめとする地場農畜産物の地産地消の推進として、大学生にPRする機会となっています。
- ・2月には、農地再生モデル事業で収穫した津久井在来大豆を津久井・城山学校給食センターに提供し、「マーボー大豆」として学校給食で子ども達が食べました。



#### 問合せ先

農業委員会事務局 濱端、宮下  
直通電話 042-769-8292